

聖徒のための情報誌

今月号の内容

平成の「立教開宗」を(1面)
島根県長満寺で星祭り法要
各地で清道衆・一日伝道(2面)
日蓮大聖人の歩まれた道
法華経のお話(3面)
よろこび法話(4面)

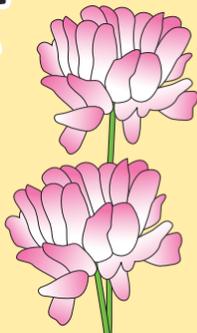
平成26年(2014年)4月1日(火)
4月号

発行所
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3-25-11
九段中央ビル702
日蓮宗霊断師会九段事務所
電話 03-6272-9340
FAX 03-6272-9341

日蓮宗霊断師会

会 長 新聞 智雄
編集人 松本 恵昌
購読料 1部 105円
毎月1回1日発行
日蓮宗霊断師会ホームページ
http://www.yorokobi-reidanshikai.jp
よろこび投稿メール
yorokobi@yorokobi-reidanshikai.jp

平成の「立教開宗」を



岩手県善慶寺聖徒団長 本部理事
総合研究所副所長
別格本山妙顯寺 加歴四十八世
三浦 恵 伸

四月二十八日は、建長五年に清澄のお山で、宗祖日蓮大聖人が朝陽に向かって御題目を唱え、「この日本国に浄土を建設する」という宣言をされた御聖日です。

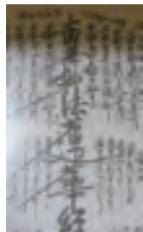
当時の自然界も荒れ狂い、蒙古襲来があつて、北条政権は末期症状を呈し、人々は絶望の淵に喘いでいました。比叡山延暦寺開創以後、鎌倉仏教の祖師方は皆、その経蔵に籠もり、同じテキストを教材にした筈です。当代随一の智者と謳われたという、法然坊源空上人にして、「法華経は難信難解で、大衆には高嶺の花」と敬遠し、「この世での救いはもう望めない、せめて死後に西方十万億土の彼方に在るといふ極楽浄土の教主、阿弥陀如来にお救い戴くしかない。」と現実逃避を以て、誤魔化すことが流行しました。

しかし、日蓮大聖人は、「この世で救われないで、果たしていつの世にか成仏する?」と極めて現実的な救済を、法華経に求められたのです。その一途の求道心が御本仏の御心と感応道交し、救済の術を発見されました。それは、
「此の三大秘法は二千余年の当初地涌千界の元首として、日蓮に教主大覚世尊より口決せし相承なり。今日蓮が所行は靈山の稟承に芥爾計りの相違なき、色も替はらぬ寿量品の事の三大事なり」
(三大秘法稟承事)

と、法華経本門虚空会での面奉でした。
この時の仏様は、各菩提寺の須弥壇に三寶様(三寶尊)として勧請され、文字式大曼荼羅ご本尊様の、最上段中央に認められています。
則ち全ての生命は、妙法蓮華經の五字から現れ、その中には五字の遺伝子(仏種)が秘められて居り、そのDNAが活動を始めれば、仏願仏業を生きる菩薩道の人となります。その菩薩が沢山集合したところを仏国土というのです。
しかし、立教開宗以後は、正に死身弘法の御生涯。法然上人さえ見逃した秘法です。一般大衆には理解不能で、法難にづく法難に遭遇されました。



(三寶尊) (大曼荼羅御本尊)



「法華思想に接近する 現代物理学」
扱、樹木希林のCM「写るんです」は消えました。デジタルカメラの普及で、フィルム業界は危機に遭遇、富士フィルムはいち早く是れに対応しました。フィルムのコーティングに使うコロゲンの基礎研究は、ナノレベルに達し、化粧品等に応用できたのです。ナノとは10マイナスイオン9乗のミクロの世界です。
最近話題のヒッグス粒子、現代物理学は10マイナスイオン6乗と言う素粒子・超ミクロの領域に分け入り、神秘の門口に立っています。物質・観察者・振る舞いの三者が関連してこそ、物質の存在と認識したのです。
因みに、仏の涅槃寂靜の境地は、10マイナスイオン24乗と言われています。日蓮大聖人が分け入られた本門虚空会の世界は、正に超々ミクロの大神秘世界でありました。
私たち聖徒は仏縁篤く、御題目の不思議な力を用いた九識靈断法による導き、俱生神月守のご加護など、その偉大な神秘を理屈抜きに体験しています。それは、宗祖日蓮大聖人・創祖日蓮上人等、大慈大悲のご弘通のお陰です。
今この日本国土は、東日本大震災を皮切りに大激動期に入ったと思われれます。近隣諸国とのつきあひも、ぎくしゃく感を呈しています。状況は鎌倉期日蓮大聖人の当時と似てきました。又戦禍を繰り返すのでしょうか?
否、人間の知識レベルが、当時と比較して格段に向上している現在、協調・共生という人間本来の生き方こそが、性に合っているし、安全であることは判る筈です。
本日の宗教と科学が融合し、真の民主主義が定着すれば、浄土相は忽然と現前するのです。今私たち聖徒には、平成の立教開宗が求められています。清道衆・行道衆講習会を開催し、団長上人と良く懇談願います。

津軽宇田山 閻法寺
毎朝 5時半より「朝勤祈禱会」
毎月 最終日曜日「感運祈願会」
毎月 第2土曜日 午後3時より「唱題修行」
午後4時より「勉強会」
〒030-1403
青森県津軽郡外ヶ浜町平館元宇田52-2
TEL 0174-25-2712
住 職 工藤 堯幸
副住職 工藤 堯慎・修徒 工藤 堯顯

旭川FMリベールFMラジオ
4月6日(日)11時 リッピンお祝い
釈尊降誕会(お花まつり)。立教開宗会。
4月2日、14日午前11時より
「マダムケロコのおまつり」
インターネットでも聞けることが
できます。
旭川FMリベールをクリック。
4月6日(日)11時
釈尊降誕会(お花まつり)。立教開宗会。
毎月1日午前10時 感運祈願会
妙正寺聖徒団 団長 関 龍雄
〒071-1423
北海道上川郡東川町東町2丁目6-3
TEL 0166(82)2714 FAX 0166(82)2914

いかされるよろこび
美濃乃國
常唱寺 聖徒団
〒501-3734
岐阜県美濃市千畝町2738-2
TEL/FAX 0575(33)1430

本山 妙顯寺
天目聖人御報恩
平成屋根等大改修
ご寄付募集中!
郵便振替
口座番号 00180-6-267327
口座名義 妙顯寺建設委員会
〒327-0843 栃木県佐野市堀米町264
TEL 0283-22-1524
FAX 0283-22-4194
http://www.sano-myoukenji.jp

日蓮宗霊断師会会長
感通寺聖徒団団長
新聞 智雄
〒162-0044
東京都新宿区喜久井町39
TEL 03-3209-8782
FAX 03-3208-7966

島根県松江市長満寺聖徒団で 星祭り法要を厳修

二月十六日、島根県松江市長満寺聖徒団(小林正康団長)において「星祭り法要」並びに「水行」が執り行われた。初めに寒空の下、七名の僧侶による気合の上がった「水行」が行われ、続いて厳修された「星祭り法要」では檀信徒の願いを一心に祈るご祈祷が盛大に行われた。

聖徒団の村松令規さんは「寒い中での水行、そして私たちの祈願のための迫力のあるご祈祷に身の引き締まる思いです。心身ともに清められ、これからの日々の活力になります。」と話された。

長満寺は、平成二十四年五月に小林正康団長が三十一歳の若さで住職となり、お寺を活気づけている。小林団長は副住職時代に霊断師となり、霊断布教、盛運祈願会を始めるなど、新たな取り組みによって今まで以上に布教活動を行っている。

その中でも「星祭り法要」では昨年より水行、豆まきを始めるなど様々な工夫をこらし、本年もたくさんの方の参詣があった。聖徒団の井上晃さんは「小林住職は若く、とても元気のいい住職。先代住職に負けず様々な事を始められ、やる気を感じ頼もしく、檀信徒一同喜んでいて、毎月盛運祈願会も檀家に限らず、徐々に人が増えてきています。これからも住

職、檀信徒と共に力を合わせて長満寺を盛り上げていきたい。」と力強く語ってくれた。

小林団長は「このような行事を通じて、多くの人と人がふれあい、感謝や思いやりのところを学び、地域の中心となるようなお寺作りをしていきたい。ひいては、安穏な社会づくりの礎を築いていきたい。」と語った。

「縁」についてのお話では、「親子の縁・夫婦の縁・友人の縁・近所の縁・そして菩提寺の縁。このすべての縁によって私たちは生かされている。生きていけば、辛いこと悲しいことのほうが多い。しかし、その時こそ、霊断法・俱生神月守を着帯し、お題目の信仰により私たちは守られ、正しい道・明るい方へと導いて頂く。毎月の盛運祈願会では、先月もありがとうございます。今月もよろしくお願ひ致します。という感謝の気持ちでお祈りすることでご加護を受ける」と、力強い言葉で説かれた。

(通信員 橋 亮光)



長満寺聖徒団「星祭り法要」

各地で清道衆講習会・一日伝道を開催

宮崎県日向市
本光寺一日伝道



宮崎県日向市 本光寺聖徒団 宮崎県日向市 本光寺聖徒団 宮崎県日向市 本光寺聖徒団 宮崎県日向市 本光寺聖徒団

平成二十五年十一月十日、宮崎県日向市本光寺聖徒団において、日蓮大聖人の七三式法要に併せ、本部聖徒部長・吉田憲由講師による「一日伝道」が行われた。

本光寺檀信徒が俱生神月守を着帯を始めたのは、平成二十五年七月。そのため、今回が檀信徒にとって初めての一日伝道であり、大勢の檀信徒が参詣した。

吉田講師は、本光寺開山日心上人(海秀上人)のお話や、ユーモア溢れる話し方で檀信徒を和ませ、皆熱心に耳を傾けていた。

「縁」についてのお話では、「親子の縁・夫婦の縁・友人の縁・近所の縁・そして菩提寺の縁。このすべての縁によって私たちは生かされている。生きていけば、辛いこと悲しいことのほうが多い。しかし、その時こそ、霊断法・俱生神月守を着帯し、お題目の信仰により私たちは守られ、正しい道・明るい方へと導いて頂く。毎月の盛運祈願会では、先月もありがとうございます。今月もよろしくお願ひ致します。という感謝の気持ちでお祈りすることでご加護を受ける」と、力強い言葉で説かれた。

たという。今、私達が生きている現世を理想の社会にしようと考えられたことは素晴らしいことと思う。

私達人間は弱い。周囲に影響され流されやすい。世界の全ての人の幸せを「法華経」に求め、「南無妙法蓮華経」を唱和することによって、人が幸せに生きる道を示された日蓮大聖人の偉大さをあらためて感じている。



本東寺檀信徒 山田 薫

大寒の二十日、広島市の濱田壽教先生をお迎えして開かれた「清道衆講習会」は、濱田先生の判り易いお話に納得の二時間を過ごすことが出来ました。

本東寺清道衆講習会 受講者感想文



本東寺檀信徒 甲斐 晃一

自爆テロという言葉が新聞などでよく見かける。そしてその原因は、宗教的なものである場合も多い。本来、宗教は幸せでありたい、豊かな気持ちで生きていきたいという人間の本性から生まれたもので、世界の全ての宗教に共通する真理と思う。しかし、現実には宗派間の争いや身分の差別が原因で悲劇が起きている宗教もある。

その点仏教は、人間は基本的に平等であり、すべての人は仏性を持ち、自ら悟りを開き、更には「生きとし生けるもの」を愛するという積善の教えが生きている宗教だと思ふ。争いのない宗教ともいわれている由縁であろう。

仏教は、中国、朝鮮を経由して、日本に定着し多くの宗派が生まれた。しかし、仏の教えは広まったが、平和で安定した社会はなかなか実現しなかった。その現実を見て、日蓮大聖人は「法華経」こそ末法の時代にふさわしい仏の教えであると考えられた。「法華経」に述べてあるように、「法華経」を信じ「南無妙法蓮華経」を唱和する人の住んでる所こそ浄土であると考えられ



本東寺檀信徒 大宮ヤス子

「清道衆講習会」。ちよつと聞き慣れない言葉でしたが、第一回と云う事でもあり、私も参加させていただきました。

講師の先生は、日蓮宗霊断師会本部の伝道局長をしていらつしやる濱田壽教先生と紹介がありました。先生は緊張している私達の気持ちをほぐす様に自分の紹介をしながら、本東寺についても「九州管内では、一番先にお題目をお唱えした由緒あるお寺です。このお寺にご縁をいただいている皆さんは幸せで素晴らしい事ですよ」と、講義に入る前に話して下さいました。

講義の内容については「みおしえ」の教本に従い、日蓮大聖人が数々の苦難を乗り越えられて清澄山頂において「南無妙法蓮華経」のお題目を唱えられ、立教開宗を世界に向けて宣言されて今日に至っている事をお話して下さいました。

また最後に先生は、この尊いお題目を大切に唱えし、一人ひとりがみんなの為に、又みんなが一人ひとりの為に仏子としての行ないの出来る人になれるよう、日々努力し精進していきましようと思はれました。

宮崎県児湯郡都農町 龍雲寺清道衆講習会

本東寺「清道衆講習会」翌日の一月二十一日、同じく濱田壽教講師(本部伝道局長) 出講の下、龍雲寺聖徒団・第五回「清道衆講習会」が開催された。

参加者三名。笑つたり泣いたりしながら、御題目信仰と人生の価値観を高めた異体同心の講習会となった。



濱田壽教講師(本部伝道局長) 吉田憲由団長を囲んでの記念撮影

第三十四回 日蓮大聖人の歩まれた道

戒体即身成佛義



総合研究所
教学研究部長
小泉 輝泰

「第三法華開会の戒体者、仏因仏果の戒体也。(中略)此法華経は三乗・五乗・七方便・九法界の衆生を皆毘盧遮那の仏因と開會す」
(戒体即身成佛義)

『戒体即身成佛義』は、蓮長が鎌倉より清澄へ帰山して間もなくの仁治三(一二四二)年、御年二十一歳にて著述されたものです。以前にご紹介した『授決円多羅義集』は、伝書として存在した書物の書写です。で、この『戒体即身成佛義』が大聖人の初めてお書きになった御書とな

ります。蓮長がこれまでに学んだ学問の経緯、そしてその当時の理解を知る上でとても興味深い内容ですので、しばしその中身について触れてみたいと思います。

まずこの御書が誰に對して示されたものかは、残念ながら明らかではありません。あるいは師道善御坊に修学の成果を示す為に送呈したものか、また

あるいは自身の胸の内を密かに書物として顕したものと。いずれにせよ、この御書中で既に法然浄土宗の誤謬を正す内容を含んでいますので、当時念佛信仰も盛んであった山内に騒ぎが起きた史実がないことを考えると、広く大衆に公開してはいないようです。



を示していきます。やはり法華経の戒については、本書中で最も文字数を割いていますが、興味深い点はそれを結論とはせず、第四段の真言の密教戒を最高位として位置づけているのです。

御書の大筋はその論題が示すとおり、「戒とはいかなるものか、そしてその戒によつていかに成佛を為すか」についての論述となります。戒はそれぞれ四段階に分別され、第一段に小乗戒、第二段に権大乘戒、第三段に法華開会の戒とそれぞれの特色を述べながら、順により上位の戒

の論題が示すとおり、「戒とはいかなるものか、そしてその戒によつていかに成佛を為すか」についての論述となります。戒はそれぞれ四段階に分別され、第一段に小乗戒、第二段に権大乘戒、第三段に法華開会の戒とそれぞれの特色を述べながら、順により上位の戒

これは皆さんがご存じの日蓮大聖人のイメージを、大きく覆すものではないでしょうか。この後に大聖人は痛烈なる真言宗批判に転じていきますが、この御書の内容を見れば、現時点ではまだまだその段階には至っていないことを示しています。それは蓮長が学問を修めていた当時の時流や、台密(天台密教)の教えが中心となっていた清澄の環境が、蓮長をして密教至上主義に至らしめていたものと考えられるのです。

無量義経の段十四年四月 大轉輪王小轉輪王。金輪銀輪諸轉輪王。(無量義経徳行品第一)



総合研究所主任

塩入 幹 丈

の出来ない話ですな(それだけ彼らの信仰が強烈な訳ですな)。

そんな彼らが理想としたのが、紀元前一〇二一年、約束の地カナン(今のパレスチナ)に建国されたというイスラエル王国。

建国の主は、ミケランジェロの彫刻でお馴染みのダビデ王(デビッド・リオン)やデビッド・ボウイのデビッドの語源だそうだが、イスラム教からも偉大な預言者と評される、国家統一の英雄です。

そのダビデ王の後を継ぎ、王国を大いに栄えさせたのが、賢王ソロモン。この古代ユダヤ最高の賢者と讃えられるソロモン王こそが、名前の力を以て様々な魔法を現じたという、伝説の魔術師なのです。

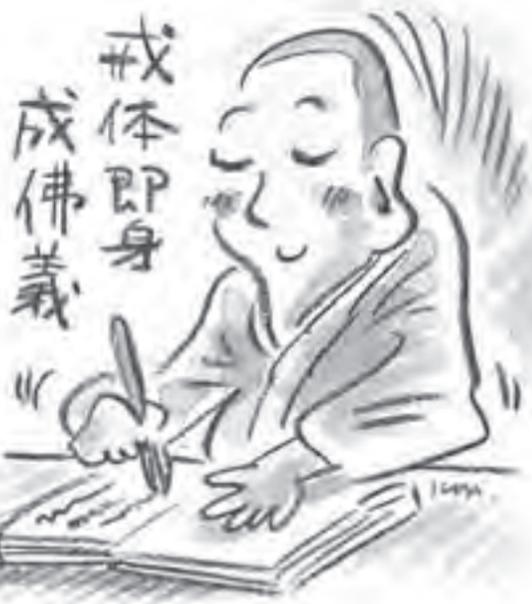
③ソロモンよ私は帰ってきた!

賢者と言えばソロモン、ソロモンと言えば賢者。賢王ソロモンこそは、唯一神から智慧を授かったとも、ユダヤ教の秘儀カバラの奥義を託されたとも伝えられる、いわば西洋における賢者の代表選手。あの大岡越前の「子供を取りあう裁判」で有名だが、実は賢王ソロ



モンの裁きが元ネタだということは、かなり有名な話ですな(同じケンオウでも、悪人たちの元締めだったくせして、自分の人生に悔いはなしなど自分己完結するこまったちゃん某ケンオウとはえらい違いですな)。

そんな賢王なればこそ、ソロモンは七十二体のデーモン(悪魔)を自在に召喚し、意のままに操ったといわれています。これぞ世に名高きソロモン七十二柱。いやいやいや、悪魔を召喚するなんて、どんな悪事をやるんかい!とツツコミたいところですが、実はデーモン(悪魔)という存在は、いわゆる怪人・獣人・奇械人・改造魔人等々と言った、ヒーローと戦うクリーチャーみたいな、悪事に特化してゐるわけではありません。



「密」とはいかなるものか、蓮長がその神髄を知るには、いまだ時を待たねばなりません。このお話の続きはまた次号にて。

②賢者は聞き、愚者は語る

(ソロモン王)

いやしかし、二千年以上もイジメ続ける方も、ホントにしつこい話ですが、二千年以上も国家の再建を目指す方も壮大なお話。

毎年毎年の米作りに追われてきたが故に、数十年スパンでの展望が苦手な我ら農耕民族には、とてもとても真似



「子供を取りあう裁判」で有名だが、実は賢王ソロ

それどころか逆に、人間に取って、とても役に立ったりする力の持ち主だったりするんです……。

よろこび法話

絶え間なく続けること



日蓮宗断断師会総合研究所 齋藤 貞
島根県雲南市妙法寺聖徒団 団長

新聞 信應

毎日自分が決めたことをやり通すこと、水の流れるように絶え間なく続けることが大切なことは重々承知しています。しかし、なかなか続けるという事は難しい事ではないでしょうか。うちでは子供たちに役目を持たせています。長男には毎日の仏飯をお祖母様にお供えをし、学校から帰ってくるのと下げに行く。次男には新聞と犬の世話をさせています。三男、四男はまだ小さいので何もさせていませんが、三男は毎朝起きると本堂に上がり、ローソクに火をともし、線香を供え、手を合わせお題目を唱える。そして、金丸を壊れんばかりに叩き、ローソクを消す。保育所から帰ると同じ事をする。親としてはいつまで続くのかなあと思いながら、又、感心しながら見えています。ふと考えてみると、子供たちがそれぞれに役目を持って振る舞いをする行為こそが信仰なの

ではないのでしょうか。信仰とは自分のその時々々の役目であり、一生の役目のことでもあるのです。私たちは、必ず父と母との縁によつて生まれてきます。人は生まれながらに一人一人が役目を持ち、子供の時は子供なりの役目を持ち、大人になれば社会の一員としての役目、結婚すれば夫として、妻としての役目、子供が生まれたならば、父、母の役目が必ずあるのです。昨今、新聞やニュースを見ていると、自分の役目を忘れがちになっている人が大変多いように感じます。そこには、色々な理由があるかもしれませんが、自己中心的な考え方から引き起こされていることが大半の様気がします。

私たちの心は本来弱いものです。辛いこと、苦しいことから眼を背けたいと思う事もあります。そんな弱い私たちだからこそ、役目があるのではないのでしょうか。どんな事でも役目を全うする事は並大抵の事ではありません。楽しい事よりも、もしかしたら辛い事、苦しい事の方が多いのかもしれません。しかし、いつでも、どこでも、どんな時でも信じて信仰し続けること(役目を全うする事)によつて、道は必ず開けるのです。

私たちは一人ではありません。私たちはご先祖様から今の命を受け継ぎ、人を通じてお題目の信仰に目覚め、巡り会い、この俱生神月守を着帯し、信仰している仲間の集まりです。私には私にしか出来ない事、皆さんには皆さんしか出来ない事があるはずで、社会の一員として、個人を生きながらも、総和の人格を以て異体同心の心で、この世を浄土にして行きます。総和とは和を以てお互いを尊敬し、尊重し、同じ志を持ったものが一つの目標に向かって歩むことです。私たちは凡夫であるが故に道を誤ることもあるかもしれませんが、その時に眼を瞑るのではなく、もしもこの仲間が仏様の道、社会の道、人の道、道理に外れる様なことがあるならば、正して気付かせて行くことが本当の仲間であり、総和の人格ではないでしょうか。信仰とは何があつても諦める事なく、絶え間なく流れる水の様にお題目の功德を信じ、自分の役目を一生かけて行う事です。どうか、毎日自分が決めたことをしっかりとやり通し、水の流れるように絶え間なく、いつも信仰を続けて下さい。心豊かに共にお題目の道に進んで行きましょう。



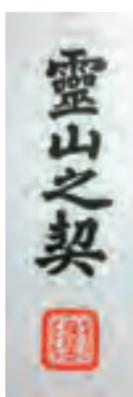
身延大会と靈山之契

りょうぜんのちぎり



本年五月二十日・二十一日に開催される全国結集身延大会。身延山では、「輪番給仕」という活動が行われております。輪番給仕とは、宗祖日蓮大聖人のお墓(祖廟)を直弟子「六老僧」が交代で護持したことがはじまりです。現在では、身延山久遠寺の住職であられる法主猊下より、「今日一日は法主猊下になりかわり日蓮大聖人へ給仕下さい」と委嘱を受け、輪番給仕の奉仕者の証として「靈山之契」を拝受します。

靈山之契とは、現世においても未来世にても、この契りによつて結ばれ、常に日蓮大聖人とともに在るとい証です。靈山之契には、宗祖が臨終の時に枕辺にご奉安された「臨滅度時の御本尊」、「波木井殿御書」の一節、法主猊下のお名前と花押が記されており、



今大会では、宗祖への報恩の誠を捧げる大法要、宗祖の御真骨が奉安される御真骨堂と宗祖の魂魄おわします祖廟へ参拝を行い、ご参加の皆様には、法主猊下より拝受の靈山之契をお渡し致します。

大会開催まであと一ヶ月となりました。皆様お誘い合わせの上、多数ご参加下さいませようご案内申し上げます。

また、恒例となりました夜の唱題修行。竹燈籠の奉納の際に御回向・御祈願の申込を受付けます。諸事の都合により大会にご参加戴けない方のご奉納も受け付けます。皆様の真心を、身延のお山に灯しましょう。

本誌イラスト 小川けんいち

砥森山 法華寺

生きて救われの道場

住職 阿部 是秀
副住職 阿部 是眞

〒028-0304
岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1
電話 0198-67-3166
FAX 0198-67-2227

安房乃國随一 三十番神祈願道場

顕本寺聖徒団
団長 小泉 輝泰

「1人で悩まず、まずは相談」
〒295-0002
千葉県南房総市千倉町川合690-1
TEL 0470-44-1062
TEL 0470-44-1524

信用第一の専門店

◇格調高い関東風仏具◇

宗務院指定

仏壇・仏具 仏像彫刻
内陣莊嚴具 設計製作

(株)中野三佛屋

東京都台東区寿2丁目7の12
電話 03 (3843) 6951
FAX 03 (3843) 6973
定休日 日曜日

快適な居住空間と充実したサービスで安心な毎日をお届けします。
4タイプのライズスタイル
有料老人ホーム さくらグループ

介護付有料老人ホーム「さくら旭川」

Aタイプ ■住宅型有料老人ホーム「さくら豊岡」 旭川市豊岡14条5丁目2-2 TEL 0166-38-0208	Bタイプ ■住宅型有料老人ホーム「さくら東」 旭川市豊岡7条4丁目1-6 TEL 0166-74-0126
Cタイプ ■住宅型有料老人ホーム「さくら西町」 旭川市7条西4丁目2356-2 TEL 0166-21-3131	Dタイプ ■住宅型有料老人ホーム「さくら南」 旭川市南1条通22丁目1721-64 TEL 0166-73-6755
Eタイプ ■住宅型有料老人ホーム「さくら春光」 旭川市春光17番地2 TEL 0166-50-1627	Fタイプ ■介護付有料老人ホーム「さくら旭川」 旭川市6条西3丁目1485 TEL 0166-27-7001

株式会社 旭川グループケア
北海道旭川市5条通13丁目647番地の1 TEL 0166-26-6640
URL: http://house-sakura.com / mail: post@house-sakura.com

よろこび 広告募集のお知らせ

寺院の案内
企業・団体様のお知らせ等
よろこび広告をご活用下さい

掲載料 月5,000円

お申し込みは本誌取扱い
日蓮宗断断師会九段事務所まで